

ふれあい

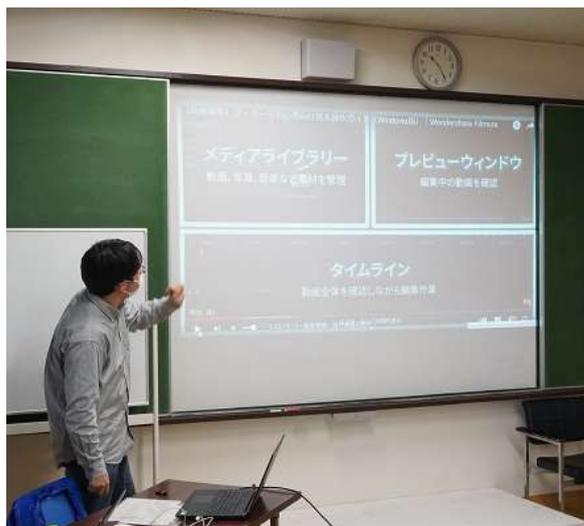
令和4年4月 第430号
大代地区コミュニティ推進協議会
(広報部)
事務局：大代地区公民館
TEL:022-364-8442
FAX:022-364-8453

【掲載目次】

- 新年度のご挨拶・・・・・・・・・・・・・2
- 目指せ YouTuber! ? ・・・・・・・・・・・・・2
- 動画編集を体験しました・・・・・・・・・・・・・3
- スクエアステップ教室を実施しました・・・・・・3
- 公民館勤務を終えるにあたって・・・・・・・・・・4
- 総会シーズンの印刷機のご利用について・・・・4

動画編集講座

動画編集を体験しました
はじめての方でも気軽に楽しめました



スクエアステップ

脳トレ運動を楽しみました
お手本にあわせてマスの上を歩きます



新年度のご挨拶

大代地区コミュニティ推進協議会

会長 熱海 五郎

日ごろから、当協議会活動へのご支援、ご参加をいただきありがとうございます。令和3年度中も新型コロナウイルスの影響により、協議会事業も中止となるものが多く、以前の活動が再開できるのももう少し先になりそうです。特に、今年に入り、オミクロン株の蔓延により、県内でも多くの感染者が発生している現状で、今後も事業の実施に関しては慎重な対応が求められるところです。

次年度に向けては5月に予定している総会等も踏まえて計画をしていくこととなります。今後の見通しを立てるのが難しいところではありますが、状況を注視していきたいと思えます。

また、指定管理業務ですが、本年3月31日で、事務局員の高橋秀秋さんが退職なされます。高橋さんには、震災が発生した翌月の平成23年4月から11年間お勤めいただきました。在職中には、公民館事業の「防災キャンプ」や「音楽まつり」、「多文化共生事業」などの大きな事業を

ご担当いただいたほか、地域の事業におかれましても、多大な貢献をいただきました。この場をお借りして感謝を申し上げます。この場をお借りして感謝を申し上げます。

また、高橋さんに代わり、4月1日から笠神在住の佐藤あゆみさんが勤務いたします。本人のご挨拶は次号に掲載させていただきます。

令和4年度も、コロナ禍ではありますが協議会事業、指定管理事業を、対策を万全に行っていきたいと思えます。皆様の事業へのご参加、お待ちしております。

目指せYouTuber!?

2月19日(土)、元YouTuberの佐藤大輔さんを講師に、「YouTuberクリエイイト講座」を開催。佐藤さんは、ウェブ系の知識やマーケティングの知識を活かし、過去に子ども向けのものをはじめとした計5つの動画チャンネルを運営していました。現在は今回のような講座でこれまで得た経験を伝えています。

動画には、顔出し、YouTuber(自分の姿をアニメーションキャラクターに置き換える)、ゲームプレイ実況、ノウハウ提供など様々な種類があり、各々が趣味

や特技を活かして動画制作をしています。その中でもいわゆるYouTuberと呼ばれるのは、動画によって収益を得ている人たちです。



ゲーム風のオンラインツールを使って開催

いくつか収益手段がありますが、主となるのは広告収入です。自分のチャンネルの登録(好きなチャンネルをお気に入り設定すること)人数が1,000人になること、直近12カ月の自分の動画の総再生時間が4,000時間になることという条件を満たせば広告収入を得ることが出来ます。少しハードルが高いですが、コツとしてはとにかく投稿を続けていくこ

とです。定期的に動画を投稿(毎日が理想的ですが2〜3日に1本でもOK)することができ、その分、再生時間を増やすことが出来ますし、YouTube側で定期的に投稿しているチャンネルを優先してオススメに表示してくれるそうです。一本の動画制作にこだわりすぎず、動画時間も短めにすれば無理なく続けていきます。収益化を考えると少し難しく感じてしまいますが、まずは楽しみながら自分の好きなことを動画にしてみようという気持ちで気軽にはじめてみると良いかもしれません。

動画編集を体験しました

YouTubeクリエイイト講座の翌週2月26日(土)に「はじめての人のための動画編集講座」を開催しました。講師は公民館職員と前週に引き続き元YouTubeの佐藤大輔さんが務めました。

動画は、文字や絵に比べて、多くの情報を伝え、また、観る人の印象に残すことが可能です。以前は動画制作には技術、時間、お金がかかりましたが、パソコンやスマートフォン、様々なアプリの普及によって動画編集は誰でも気軽に出来る時代に

なりました。今回の講座では、動画編集は意外に簡単で楽しいものなんだということを感じてもらおうことを目指しました。

動画編集には、撮影などの素材集め、切り貼り、文字入れ、音入れ、特殊効果というステップがあります。今回はFilmoraという編集ソフトを使って実際に体験しました。最近は直感的に編集できるソフトが増えてるので、はじめての人でもすぐに簡単な編集ができるようになります。

後半は、講師の佐藤さんがストップモーション(コマ撮り)を得意としているということもあり、その体験をしました。



20代から60代まで幅広い年代の方が参加しました

被写体を少しずつつ動かして写真を撮影し、写真をつなぎあわせると動いて見えるというパラパラ漫画のような手法です。

今回は折り紙、粘土、レゴを使って行いました。音楽を入れたり、逆再生をしたり、ストーリーがあったり、文字を入れたりそれぞれが工夫をして動画を仕上げました。わずか2時間の講座でしたが、参加者のみなさんはその中で立派な動画クリエイターになりました。

動画は観るだけでなく作るのも楽しい媒体です。ぜひみなさんも自分の好きなこと、学んだことなどを動画で発信してみてください。

スクエアステップ教室を

実施しました

2月22日(火)・3月1日(火)・8日(火)の3回の日程で、大代地区公民館社会教育事業「スクエアステップ教室」を実施しました。

この紙面でも何度か紹介させていただいていますが、スクエアステップマットという専用のマットの上を、講師の歩いたとおりに進むという脳トレも交えた軽運動です。

以前は大代地区公民館、山王地区公民館で実施させていただいておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止や延期となることもあり、最近は大代での開催が多くなっています。今回は会議室にて、感染対策として、事前の消毒、換気を行いながら約90分の講座を実施しました。



スクエアステップマットは25 cmの正方形のマスが縦10個・横4個あり、奥に向かって進んでいきます

講師は公民館職員及川（認定指導員資格所有）です。こちらのスクエアステップは、集会場等マットを敷けるスペースがあれば、実施することが可能ですので、町内会行事等でご希望の場合は、ご連絡いただければ日程なども調整し、対応いたします。お気軽にお問い合わせください。

公民館勤務を終えるにあたって

高橋 秀秋

このたび、定年により大代地区公民館を退職することになりました。高橋です。平成23年から11年間の長きに亘り大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。公民館勤務が始まってから今まで様々な方々と出会い、いろいろな経験させていただきましたが、改めて人とのつながり、地域活動の重要性を痛感しました。これからも地域に関わること、公民館にお世話になることは続きますが、ここで得た教訓を活かし、微力ではありますが地域への力となるよう頑張りたいと思います。

さて、現在の大代地区公民館は、指定管理者が公民館を管理運営しており、直営では難しいこともスムーズにできるようになっていきます。何でも公民館独断で決めて良い訳ではありませんが、地元の方や利用される方々の声を最優先に考え、融通を利かせたり、地域性、独自性を活かして事業を行うことができる仕組みになっています。大変さもありましたが、大代地区のことを長期的視野で考えながら、

やりがいを感じて仕事をすることができました。特に自分が直接関わったり、担当した事業で、多くのの人に喜ばれ、期待をかけられたときなどは、年甲斐もなく無邪気に喜び、若返った気分になったときもあります。

最後に公民館を退職するにあたって思うことですが、地元の方や公民館を利用される皆様、これからも公民館を身近に感じていただき、職員にも気軽に話しかけ世間話をたくさんしていただきたいと思えます。私も大代地区の住民として、公民館が更に人や情報が集まる拠点となるよう応援して参りたいと思います。長い間、どうもありがとうございました。

総会シーズンの印刷機の利用について

例年4月・5月は、総会資料の印刷等大代公民館に設置されている印刷機が混みあいます。

使用できる印刷機は1台しかなく、前の方が使用されているとお待ちいただくことになるので、お越しになる前に電話にて状況をご確認いただくことをお勧めいたします。